



# 笠井かなえの活動レポート 12月議会報告

～子育て・介護をひとりぼっちにしないまちに～

みなさまのご意見、現場の声を  
お聞かせください。  
TEL・FAX：0940-37-0700  
Email：munakata@fnet.gr.jp



メール用  
QRコード



## 一般質問①

### ◆安心して子育てできる環境の充実を ～利用できる「一時預かりの制度」を～

子育て中のお母さん達に困っていることを聞くと「一時的に預ける所がないこと」をほとんどの人があげました。どの自治体でも認可保育園の一時預かり制度があります。親自身の病気や冠婚葬祭、パートタイムの仕事などのために一時的に保育が必要な場合や育児疲れのリフレッシュのために支援が必要な場合に、未就園児を預かる制度です。

しかし、宗像市では、ほとんど利用できていません。保育士不足が大きい理由ですが、初めて預かる子どもについては、安全面などから慎重に対応しているようです。

そこで、解決策として①一時預かりを市の子育て支援センターで行うこと  
②ファミリー・サポート・センター(注)事業を導入すること を提案しました。

<①の回答>子どもを安全に預かるための配慮などから断るケースもあるようです。今後、保育園の人手不足が改善される見込みなので、一時預かりが出来るようにお願いをしたい。

この対応で確実に利用したい人が利用できるのか疑問です。市は、早急に預かれる制度を整える必要があります。他の自治体への調査や視察から、子育て支援センターで預かりが出来ること、普段から親子で利用している場所なので、預ける側も預かる側も慣れていて安心感があることが大きなメリットだと思いました。多くの人が利用しています。

<②の回答>ファミリー・サポート・センター事業は、預かりや送迎での事故のリスクと預かる人が専門職ではないため不安もあると聞いている。今は導入は考えていない。

市は、今後子育て支援のニーズの把握に努め、必要な支援を検討したいと言われました。乳幼児期の子育てが大変な中で、一時的に預けることで「ホッとできる」ことはとても大切です。必要な時に一時預かりが確実に利用できるように今後も要望していきます。

## 市民ネットで柳川市地域子育て支援拠点「このゆびとまれ」を視察

この施設は、主に0～3歳を子育て中の親同士の出会いと交流の場で、子どもが自由に遊び、かかわりあう場でもあり、第2の家庭のような場所です(写真①)。室内遊びだけでなく、中庭もあります。また、各種セミナーや相談会など、多数のイベントも開催されています。

いいなあと思ったことが2つあります。1つ目は、精神的にも疲れ、寝不足のお母さんが少し休む(寝る)スペースがあることです(写真②)。その間子どもはスタッフが見てくれます。2つ目は、ファミリー・サポート・センターの事務局が入っており、子どもの預かりはこの施設を利用できることです。それにより、自宅より預けやすくなっています。

このような施設が宗像市にも必要だと思いました。(2023年11月)



注：市町村で運営され、子どもの送迎や預かりなどの「支援を受けたい人」と「支援したい人」をつないで子育てを支援する仕組み。

## 一般質問②

### ◆教員も子どもも喜ぶ働き方改革を

教員の長時間労働が社会問題になっています。昨年の調査では、小中学校教員の1日平均の在校時間が約11時間でした。働き方改革と言われながら、改善されていない現状に、今年8月、中央教育審議会は「危機的状況」として緊急提言を出しました。



働き方改革の目的として、教員の健康と家庭生活を守るとともに、子どもと向き合う時間の確保が重要とされ、子どもの学習面や困りごとにきめ細やかな指導が期待されています。

教員の勤務や授業など業務に関しては、国や県の法令で定めていますが、市の教育委員会や各学校の判断で実施できる「働き方改革」もあると考え、質問しました。

教員の仕事の負担を軽減するために、市費でさらに補助的教員や事務職員を増やせないか。特に、特別支援教育支援員は、宗像市では教員免許が条件にあり、応募者が集まらないと聞きます。免許更新をしていない退職教員の方に臨時免許で対応するなど増やせないのか。また、勤務時間が週19.5時間と短いため、学校現場では困っているとの話をよく聞きます。改善出来ないのか。

<回答>現在は、教員免許を条件にしているが、今後は臨時免許やボランティア経験者等の採用も検討したい。学校事務補佐員は増員する予定。

市内一部の小学校で休み時間を短縮し、下校時間を早くする取り組みが始まっています。教員が放課後に仕事を増やすためですが、児童の下校時間を大きく変更する場合は、教員と児童の生活や保護者への影響などアンケート調査などで確認し、丁寧に進めるよう要望しました。

仕事量を抜本的に減らし、長時間労働を改善するには、国の法令の改正が必要です。また、残業手当がほとんど付かない給与の仕組みでは、学生の志願者や他業種からの転職者の増加も期待できません。国や県に対し、様々な機会に強く働きかけることを要望しました。

## 注目のワード

### 【基金とは?】

宗像市の財政を考える上で重要なものに、基金があります。基金とは、貯金のことです。一般的な個人の貯金と違って、主に①財政調整基金②減債基金③その他などがあり、それぞれ目的とルールがあります。

①は黒字の年度には積み立てが義務化されています。財政調整基金は58億円(令和4年度決算)、多すぎる?

主な目的として、災害時の緊急的財源になります。宗像市では最近では大きな災害は起こっていませんが、災害時はまず、この基金を使い、復旧作業に当たります。実際に久留米市では、昨年7月の水害で、まず37億円を災害復旧作業のために出しています。

### 【就学援助制度とは?】

小中学生のいる家庭で、経済的な理由で学校教育に必要な用品や活動費などの負担が困難な家庭を支援する制度です。

◆対象となるもの

文房具・体操服・ランドセル・給食費・修学旅行費・クラブ活動費・卒業アルバム代など

◆対象者は、生活保護世帯に準ずる程度に困窮していると認められる世帯や生活保護世帯となっています。

※市の審査があるので、認定基準など詳しくは担当課に問い合わせください。